

なにをかこうかな

マーグレット&H・A・レイ 作
中川健蔵 訳

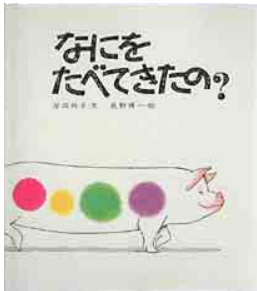


文化出版局 1984年 1165円

うさぎのビリーが、絵をかきはじめると、こいぬのペニーがやってきて…。次々と登場する動物たちが、ビリーの絵に自分の書きたいものを書き足していきま。どんどんへんてこな動物になっていく絵が、楽しい絵本です。黄緑を背景にした、イラスト風の明るい絵も魅力です。「みんなじぶんのえが かきたかったのさ」と、最後にそれぞれ楽しそうに自画像をかく動物たちの様子が、描かれています。

なにをたべてきたの？

岸田衿子 文
長野博一 絵



俊成出版社 1978年 971円

しろぶたくんは、おなかですいています。りんごを食べると赤、レモンを食べると黄色、メロン、ぶどうと食べるにつれて、しろぶたくんのおなかの色が浮かびあがります。もったきれいなになろうとせつけんを食べると…。すっきりした白地の絵に、くだもの色が鮮やかです。「なにをたべてきたの？」という、なぞなぞ絵本としても楽しめます。

ねずみくんのチョコッキ

なかえよしを 作
上野紀子 絵



ポプラ社 1974年 1000円

ねずみくんは、おかあさんがあんでくれた赤いチョコッキをきています。そこへ、あひるくんがやってきて、「ちょっときせてよ」。あひるくんは、さるくんにかして…次々に大きな動物が登場してきます。小さなチョコッキを無理にきてポーズをとる、それぞれの動物たちの表情がユーモラスです。くり返しの会話と、どんどん大きくなる動物が楽しい絵本です。「ねずみくんの絵本」シリーズは「りんごがたべたいねずみくん」などがあります。